



# 桐生ロータリークラブ週報

国際ロータリー第2840地区 2020-2021年度 国際ロータリーのテーマ

## 2020年



ロータリーは機会の扉を開く

### ROTARY OPENS OPPORTUNITIES

#### R.I 会長 ホルガー・クナーク

善意というものがないなら

ロータリークラブは唯の社交クラブだ。

職業は金儲けのためでしかなく、

社会奉仕というも施しにすぎず、

国際奉仕は外交以外の何ものでもない。

パストガバナー 前原 勝 樹

会長 森 末廣 幹事 後藤圭一

クラブ会報・情報委員会 田中淳・長澤深幸・亀山貴史

12月14日号

## 第3158回例会

(12月7日(月)第1例会)

例会場 桐生プリオパレス

- |                |                |
|----------------|----------------|
| 1. 点 鐘         | 8. 乾 杯         |
| 2. 国歌斉唱        | 9. 会長の時間       |
| 3. 桐生市歌斉唱      | 10. 幹事報告       |
| 4. 四つのテスト唱和    | 11. 委員会報告      |
| 5. 来訪者紹介       | 12. 卓 話 「私の故郷」 |
| 6. RLI 修了バッヂ授与 | 米山奨学生 刘 媛 様    |
| 7. 結婚・誕生祝      | 13. 点 鐘        |

### ようこそビジター

<米山奨学生> 刘 媛 様

#### RLI 修了バッヂ授与

本田 雄一郎君



#### 米山奨学金授与

刘 媛 様



#### 結婚祝

山崎 一順君  
大友 一之君  
木村 滋洸君  
飯塚 荘一君  
相沢 崇文君



#### 会長の時間

今月は、「疾病予防と治療月間」です。2014年10月RI理事会は、12月を重点分野:「疾病予防と治療月間」と決めました。

地域社会の医療従事者の能力向上、伝染病の伝播を食い止め、非伝染病とそれによる合併症を減らすための、疾病予防プログラム、地域社会の医療インフラの改善、疾病の蔓延を防止することを目的としました。また、地域住民への教育と地域動員、疾病または怪我によって引き起こされる身体障害の予防、疾病予防と治療に関連した仕事に従事することを旨とする専門職業人のための奨学金支援を強調する月間でありま。まさに、このコロナ禍の時に、必要な強調月間です。

ロータリー会員は、マラリア、エイズ/HIV、アルツハイマー型認知症、多発性硬化症、糖尿病など、さまざまな疾病の予防と治療に携わっています。また、貧困地域の人たちを対象とした聴覚、眼科、歯科検診も実施しています。

#### 誕生祝

長澤 深幸さん  
須永 博之君  
大友 一之君



疾病との闘いでは、患者への直接的なサポートだけでなく、地域社会全体のキャパシティを高めることも重要となります。以下がその例です。

- ・地元の保健従事者を対象にした医療ワークショップの開催
- ・地元の医療・保健インフラを向上するプロジェクトの実施
- ・疾病・怪我を原因とする身体障害を防止するプログラムの支援
- ・疾病予防・治療分野でのキャリア構築を目指す学生への各種サポート

《報告》

- ・12/5 米山面接官オリエンテーション  
米山学友会忘年会 大友米山奨学副委員長  
女性フォーラム ホテルメトロポリタン  
青木さん、新川さん、田中さん  
平岩さん、ランドルフさん

- ・12/6RLI 松島ディスカッションリーダー  
本田会長エレクト、増山副幹事

《予定》

- ・例会終了後、定例理事会
- ・12/14 年次総会

## 幹事報告

- ・国際ロータリーより、ロータリーレートのご案内です。  
12月＝105円です。
- ・歌津地区復興支援の会より「一燈」が届いております。
- ・桐生西、赤城RCより週報到着。
- ・テーブルに「出前とまり木食事会 in 大北小」の印刷物がありますが、昨年度、桐生4RC 合同で寄付を行った為、桐生ロータリークラブの名前が入っています。
- ・次週14日(月)例会は、年次総会となりますので、皆様出席お願い致します。
- ・本日例会終了後、定例理事会を開催致しますので関係理事役員の方々は、ご出席よろしくお願ひ致します。

## 委員会報告

### 出席委員会

本日の出席(令和2年12月7日)

総員 67名:出席 40名

令和2年11月16日例会修正出席率:61.9%

### ニコニコボックス

森末廣君…刘媛様卓話をありがとうございます/須永博之君…刘媛さん卓話お疲れ様です/山崎一順君、飯塚荘一君…結婚祝/須永博之君、長澤深幸さん…誕生祝/疋田博之君、館盛治君、坪井良廣君、堀明君、森末廣君、吉野雅比古君、本田雄一郎君、須永博之君、竹内靖博君、桑原志郎君、柳明彦君、水越稔幸君、久保田寿栄君、後藤圭一君、荒木千恵子さん、田中一枝さん、小林雅子さん、平岩千鶴子さん、中山賀司君、Randolph 留利子さん、青木貴子さん、新川桂子さん…写真戴きました。

## 卓話



「私の故郷  
生まれ育った土地  
揚州」

米山奨学生  
刘媛様

名前: 劉媛 (リュウ エン)

出身: 中国江蘇省揚州市

誕生日: 1994年9月25日

学歴: 群馬大学 理工学府 博士2年

趣味: ハイキング、登山、ミステリー小説を読む

好きな食べ物: たい焼き、たこ焼き、日本そば



揚州は中国の江蘇省にあり、北は淮河、南は長江、中部は世界遺産の京杭大運河がある、水運に恵まれた都市です。

揚州は、上海からさえ新幹線とバスを乗り継いで3時間くらいかかります。

温暖・湿潤、光照がたっぷり、四季がはっきりしている。

揚州は生活を楽しむ町だと多くの方がいます。ここ数年揚州はもっときれいになって、観光客がだんだん増えてきました。昔、長安に向かった日本からの遣隋使や遣唐使が最初に上陸したところが揚州市でした。

揚州市は、江蘇省の中部、揚子江と京杭大運河の交差点に位置し、中国で最も活気がある「揚子江デルタ」経済圏にあります。穏やかな気候に恵まれており、豊かな四季を楽しむことができます。

また、揚州市は中国優秀観光都市であり、観光資源に恵まれています。美しい江川風景、清時代から残る数多くの庭園屋敷、明・清時代の古城、中国十大名所の一つである瘦西湖、中国四大名園の一つである個園、鑑真和上が住職を務めた大明寺、漢代の姿が今も完璧に保存されている「黄腸題湊」式の王陵広陵苑、中国唯一の彫版印刷博物館など、数多くの名所があります。

中国の大運河と共に成長してきた揚州には、2500年余りにわたる築城の歴史があり、名所旧跡が多く「揚州園林甲天下」(揚州の庭園は天下に並ぶものなし)と称されています。人々を魅了する風景に、世界各地から観光客が続々と訪れています。

揚州の街中には、昔ながらの中国の地方都市らしい風景も残っています。

近くにある揚州でも有名な瘦西湖(そうせいこ)

古運河の渡場でもあり当時の雰囲気を残す「東関街」、



湖上園林の景勝地として有名な「瘦西湖」など、隋の煬帝が愛した趣のある景観が広がっています。瘦西湖は杭州の西湖より小さいですから、「やせた西湖」の形容が似合うでしょう。そこにある百八塔は塩の商人が一晩をかけて建てたと言われています。杭州の西湖にちなんで名づけられましたが、西湖より小さいので「瘦西湖」と呼ばれ、湖水は市内の川へと流れ込みます。

全てを歩くのは広すぎて無理だろうと思われます。時間があれば、遊覧船にのって行くのがおすすめです。圧倒的に楽です。そろそろ陽が傾く時間。瘦西湖に光る夕日は絶景なので写真にパチリ！遊覧船もあるので、1周回してみるのもおすすめです。

東関街で食べ歩き&お買い物したら、歩いて10分ほどの中国の有名な園林の1つ「個園」をゆっくり見て回りましょう。「個園」は、竹と石の組み合わせが特徴的。さらに園の中には、四季を表した景色があり、写真は有名な「春の景」。青々とした竹とたけのこをイメージした石碑などがあり、春を感じさせる雰囲気の良い印象をあたえてくれます。P2. こちらは「夏の景」で、池と太湖石が美しい景色を作り出しています。岩山の中を通ることもできるので、いろいろな角度からの景色を楽しめます。ほかにも「秋の景」と「冬の景」があるので、日本の庭園とはまた違った奥ゆかしさを感じながら、時間を過ごしてみてくださいね。

中国古代の文化人は、竹を高潔の象徴と考えており、竹を大変尊重していたことから、その竹の葉の形から名づけられた。

さらに園の中には、四季を表した景色があり、写真は有名な「春の景」。青々とした竹とたけのこをイメージした石碑などがあり、春を感じさせる雰囲気の良い印象をあたえてくれます。

こちらは「夏の景」で、池と太湖石が美しい景色を作り出しています。岩山の中を通ることもできるので、いろいろな角度からの景色を楽しめます。ほかにも「秋の景」と「冬の景」があるので、日本の庭園とはまた違った奥ゆかしさを感じながら、時間を過ごしてみてくださいね。

揚州の庭園は北方の皇家庭園と南方の個人庭園の融合で形成された新種の庭園であり、皇族庭園のきらびやかさ、壮大綺麗な特色があれば、江南庭園の精巧、小型の建築特色も備える。揚州庭園は、石の重ね積みのうまさ特徴である。個園もその一例である。

名園も多く

日本庭園のルーツは中国庭園にあるため、日本庭園と中国庭園は似ている部分が多く、中国庭園も池を中心として神仙の世界を表現してきたところは同じです。中国庭園にも日本庭園の東屋などと同様に楼や閣、亭、台などを配置します。

ただ、日本庭園があくまで自然であることに重きを置いているのに対し、中国庭園は太湖石など奇岩怪石を配置して、より神秘的で個性的な空間を演出するのが特徴です。

また、日本庭園が、庭の向こうの背景の山などを含めて、「借景」として愛でるのに対し、中国庭園はあくまで

庭園の中で世界を完成する点も異なります。さらに中国庭園の大きな特徴として、見る場所によって異なる景色を作る点があります。

実は「大明寺」は、日本へ仏法や戒律を伝えた高僧鑑真が住職だったことでも有名な寺院なんです。鑑真の記念堂もあり、中国から日本へと伝わった歴史などを知ることできる。

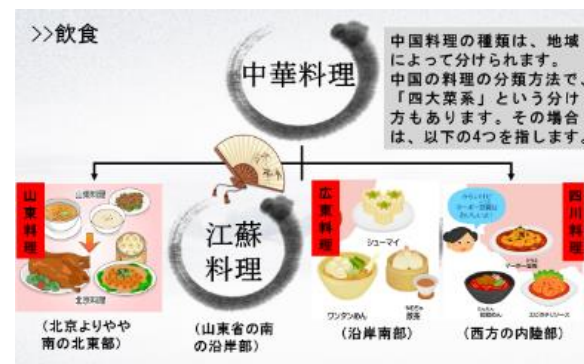
揚州旧市街の北西に大明寺があります。

大明寺は、鑑真和上が日本に渡る前に住職を勤めていた寺です。

鑑真は遣唐使の要請を受け、五回の渡航失敗と失明という苦難の末に、日本に渡り、仏教の戒律を伝えた高僧です。

鑑真は日本で亡くなりましたが、1980年、奈良・唐招提寺の鑑真和上坐像が大明寺に「里帰り」しました。鑑真は戒律を伝えるために日本へ渡り、仏教の普及の他に書道・建築・彫刻・薬学などの知識をもたらせ日本文化に大きな影響を与えた。

広大な寺院内には大雄宝殿や栖霞塔、鑑真記念堂や周遊庭園などがある。



▶ 肥沃な土壌が生んだ「江蘇料理」

淮揚料理 (わいようりょうり)

海の幸はもちろん、長江と太湖を有するため、川や湖の食材も使われます。

淮揚料理は広東料理や四川料理などと並んで、淮揚地区で発達した料理法で、中国人ならたいていは知っている料理法です。  
[ここで言う淮揚地域の中心地が揚州です。](#)

■おすすめのグルメ

淮揚料理

揚州炒飯や小籠包、塩水餃(茹でたアヒルの塩漬け)、南京三叉(アヒルなどのチャーシュー)、獅子頭(大きな肉団子のスープ)など、上品な味わいの料理が多いです。

- 獅子頭 (シーズトウ)
- 揚州炒飯 (五目チャーハン)

皆さんが一般的に食べられている五目チャーハンは私の故郷揚州(ようしゅう)発祥なのです。通常の五目チャーハンよりも具沢山であっさりしている味わいですが中華人民共和国建国記念でも出された揚州料理の代表作!

准揚料理という中華料理の種類を聞いたことがあるでしょうか。気候や素材が地域により異なる中国では地域ごとにその地に適した料理が発達していたのですが、准揚料理は広東料理や四川料理などと並んで、准揚地区で発達した料理法で、中国人ならたいていは知っている料理法です。ここで言う准揚地域の中心地が揚州です。代表的な料理は、塩水鴨(茹でたアヒルの塩漬け)、清蒸鱈魚(ニシンの仲間の蒸し物)、無錫排骨(スペアリブの甘酢煮)、霸王別姫(親鳥とスポンのスープ)など。

江蘇料理は、旬の魚介や野菜、鴨を使い、淡泊な味付けで素材の味を生かす料理が主流。

揚州料理を代表する名菜

食べ物、やはり揚州焼飯でしょうか。中国どこにいてもあるのですが、揚州で揚州焼飯を食べるのもシャレでたのしい。汁気を飛ばしながら、米と具を焼いて、香ばしい香りを出していくイメージですね。だから、広東のようなパラパラの炒飯ではなく、むしろしっとり系の焼き飯です。

カニみそ獅子頭

「獅子頭」とは「大きな肉団子」のことで、揚州市で古くから伝わる料理の1つです。土鍋に入った肉団子が獅子の頭に見えたことから、この名が付いたと言われています。言い伝えによると、獅子頭の誕生は、隋の煬帝と関係があるということです。

蹄に近い豚の脚の肉を煮凝り状に固めたものです。

中国人は、鳥獣家禽を食べるとき、よく動く部位を好む人が多いです。

総じてこうした部位は柔らかくも弾力のある食感で、コラーゲンが豊富。

(アヒルの水かき)もそうした部位ひとつです。

焼き点心:

開胃とは、文字通り「胃袋を開く」ということ。前菜の後はスープ(湯)と点心(点)で、さあ胃袋を開こう!という料理が登場します。

それだけのことだが、地元の人はそのふうに表示する。揚州は、長江と大運河の交叉するところ、隋・唐以降大商業都市として栄え、特に明・清時代は塩の大集散地として天下の富を思うがままに操っていた。その揚州人の風流心の発露なのである。

朝食の中でも、特におすすめなのがこの「揚州タンパオ」。小籠包のように中に肉汁がたっぷり入っているのですが、その肉汁をストローで吸うのが、現地流。スープは熱いので注意が必要ですが、蟹味噌味がしっかりしていて風味豊か。スープをいただいたあとは、周りの皮と合わせて餡をいただきます。

揚州銭湯 揚州は、銭湯の多い街。狭い家の中に浴室設備がない場合が多く、みんな銭湯に通うのです。揚州における銭湯の始まりは、交易のため揚州に来ていたアラブ商人の影響だともいわれています。日本の銭湯との大きな違いはふたつ。ひとつは、休憩室があること。一人一台のベッドをあてがわれ、そこで日がない日お茶を飲みながら他の客と談笑して過ごす人も多いのだとか。

もうひとつは、マッサージや足の手入れなどさまざまな

サービスが受けられること。特に「修脚」と呼ばれる足の手入れは、刀一本で、タコや魚の目などを治療する専門技術が受けられます。

サービスは追加料金で受けられます。

熱い男の世界を体験したい方は、一度試してみたい方が多いでしょうか。ちなみに男性用は浴室がある場合が多いようですが女性用はシャワーのみということが多いようです。ちなみに揚州の名産品といえば揚州三把刀(ヤンヂョウサンバーダオ)。これは包丁、髪を切るためのハサミ、修脚(足の手入れのための刃物)の三種の刃物のこと。

これは包丁、髪を切るためのハサミ、修脚(足の手入れのための刃物)の三種の刃物のこと。

揚州の人はこの三つの職業に秀でた人が多く外国にでもこれで身を立てている人が多いそうです。

横浜でも昔はこの三つの職業に着く中国人が多かったそうですが、最近はコックさん以外の職業のひとはほとんどいなくなったようです。

ちなみに揚州市は、優れた刃物があることでも知られ、修脚用の道具、包丁、髪切り用のハサミをあわせたこの「三把刀」は、お土産としても人気なんですよ。

私の故郷についての紹介は以上です。ご清聴ありがとうございました。

とってもいいところなので一度いらしてみたい方がいますか?

本日の食事



🌸本日のお花🌸



桐生 4RC 女子会

11月29日(日)今回は桐生西 RC 浦野幸子会員のご自宅で開催されました。6名参加し、とても素晴らしいおもてなしでした。



第 2840 地区女性フォーラム  
山田由紀子ソプラノリサイタルとティータイムの午後



12月5日(土)ホテルメトロポリタンにて開催されました。オペラ歌手の高崎 RC 山田会員とピアノのリサイタルでした ♪女性会員 5名参加してくれました。